

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	環境経済学 (Environmental Economics) 2013-0-13-039					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
経済理論の応用により環境問題を経済の視点で捉える能力を身に着け、環境問題の実態や環境政策の意義について理解することを目標とする。近年社会的に関心が高まる SDGs のにおいて、環境関連分野は大きな柱の 1 つである。持続可能な社会づくりの視点も含めて考察できる能力向上を目指す。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力を育成する授業である。
③ 授業の進め方・指示事項
毎回、配布資料により解説を行い、演習問題による理解の確認と知識定着を進める。期末試験に加えて数回の小テストにより、平素からの学びの成果を確認する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「環境と社会」「ミクロ経済学」
⑤ テキスト (教科書)
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書
三橋規宏『環境経済入門 (日経文庫)』日本経済新聞出版、 栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ [第 4 版]』有斐閣
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 環境問題の基本的な事項を他者に説明できる。 (ii) 環境問題と経済との関わりについて、ミクロ経済学の理論等を用いて他者に説明できる。 (iii) 環境問題に対する政策などの取り組みの基本について他者に説明できる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 環境問題の基本的な事項	環境問題の基本的な事項等に関して資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	環境問題の基本的な事項等に関して資料等に頼らず説明できる	環境問題の基本的な事項等に関して資料等を見ながら説明できる	環境問題の基本的な事項等に関して資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	環境問題の基本的な事項等に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 環境問題と経済との関わり	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等に頼らず他者に説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等に頼らず説明できる	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等を見ながら説明できる	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	環境問題と経済との関わりについて各内容・目的・課題を資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) 環境問題に対する政策などの取り組み	環境政策等の取り組みを資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた分析も説明できる	環境政策等の取り組みを資料等に頼らず説明できる	環境政策等の取り組みを資料等を見ながら説明できる	環境政策等の取り組みを資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	環境政策等の取り組みを資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%				30%		100%
(i) 環境問題の基本的な事項	10%	5%				10%		25%
(ii) 環境問題と経済との関わり	20%	10%				10%		40%
(iii) 環境問題に対する政策などの取り組み	20%	5%				10%		35%
フィードバックの方法	小テスト結果は返却して解説する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
環境に関する現実の様々な問題を題材にして、経済学の応用の視点も含めて環境問題に対する理解力・説明力を向上できるような授業を目指す。社会で求められる環境関連の知識やその応用力の醸成に力を入れる。	

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション 環境問題の本質～外部性としての環境問題	配布資料によるオリエンテーションの内容と環境問題と外部性についての振り返り	60分
2	環境問題の変遷～環境問題を振り返って今の環境問題を考える（衛生問題から公害問題）	配布資料による環境問題の変遷についての振り返り	120分
3	環境問題の変遷～環境問題を振り返って今の環境問題を考える（地球環境問題と生活者起源の環境問題へ公害問題）	配布資料による環境問題の変遷についての振り返り	180分
4	環境問題の変遷（地球環境問題の補足）、環境経済学の基礎～供給曲線	配布資料による地球環境問題と環境問題と供給曲線の関わりの振り返り	180分
5	環境経済学の基礎～供給曲線と需要曲線、その応用	配布資料による需要曲線と高給曲線による環境経済学基礎の振り返り	240分
6	環境経済学の基礎～均衡について、環境問題への応用	配布資料による均衡とその経環境問題への応用に関する振り返り	120分
7	環境への経済理論の応用～ピグー税など	配布資料によるピグー税などの経済理論応用の振り返り	180分
8	環境への経済理論の応用～環境税、課徴金制度など	配布資料による環境税、課徴金制度などの経済理論応用の振り返り	240分
9	環境補助金、規制的手法 VS. 経済的手法	配布資料による環境補助金、規制的手法・経済的手法の振り返り	120分
10	主要な経済的手法～排出権取引（キャップ・アンド・トレード）等	配布資料による排出権取引等の振り返り	180分
11	経済的手法の補足 廃棄物政策の枠組	配布資料による経済的手法、廃棄物政策の枠組の振り返り	240分
12	廃棄物政策～規制と経済的手法	配布資料による廃棄物政策についての振り返り	120分
13	廃棄物政策～ごみについて考える	配布資料による廃棄物政策についての振り返り	120分
14	SDGsについて	配布資料によるSDGsについての振り返り	180分

15	全体の振り返り	配布プリントの演習問題に取り組む	240分
----	---------	------------------	------

⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL を採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。公務員試験の過去問等の活用による演習も取り入れる。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
実務経験と授業科目との関連性			